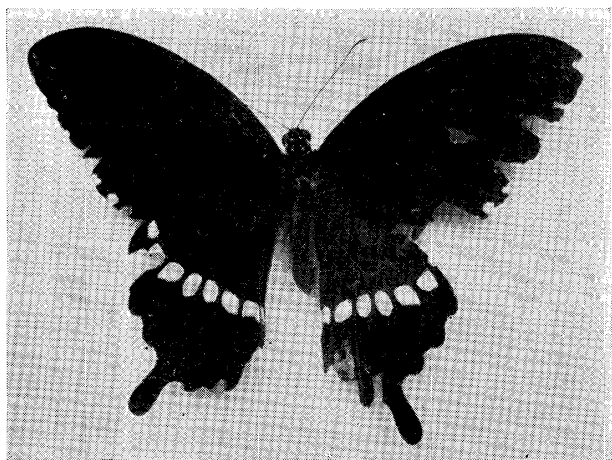
南九州に於けるシロオビアゲハとカバマダラの記録

福　田　晴　夫[1)]

Two migrant butterflies recorded in Southern-Kyushu, Japan

By HARUO FUKUDA

I　シロオビアゲハ（Fig. 1）

シロオビアゲハ *Papilio polytes polycles* FRUHSTORFER の確実な分布北限は，奄美群島の喜界島で，他には屋久島の西北にある口永良部島で1頭が採集された記録があるにすぎない．

ところが，1959年8月12日，鹿児島県川辺郡坊津町中坊に於て，1♂が高校生の貴島義大君によって採集され，枕崎市の山崎みちこさん（小学四年生）によって保存されていた。この個体は，標本作製中の事故のために，かなり破損しているが，採集された当時は完全品だったという．現在，山崎さんの御好意で筆者が所有している．

採集当日は台風6号の通過直後であり，7月下旬，沖縄や喜界島では，完全品からやや破損した程度の♂が多い時期であるので，恐らくこの個体も飛来によるものと思われる．

II　カバマダラ（Fig. 2）

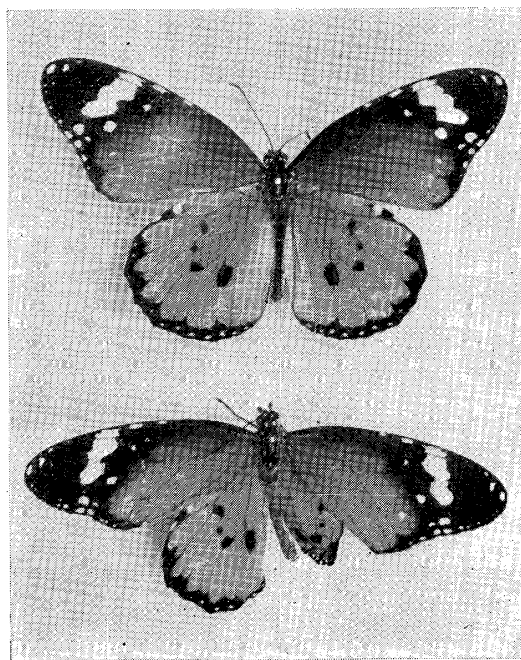
前記シロオビアゲハの所有者，山崎みち子さんのお母さんから，〝カバマダラも枕崎にはたく山います〟という事をお聞きした時には，何かの間違いだろうと思ったが，後日，標本を見せてもらったところ，確かにカバマダラ *Limnas chrysippus* LINNÊ であり，しかも，疑もなくこの地で発生したと思われる個体であった．

採集記録は

① 1959年8月12日（1♂）右後翅伸展不完全

② 1959年9月上旬（1♂）左〃　〃　〃

③ 1959年10月27日（1♂）完全

採集地はいづれも鹿児島県枕崎市折口町山崎医院内，採集者は3♂ともお母さんらしいが，手づかみにされたものもあるという．又この他にも9月上旬に少くとも3頭は目撃されたそうである．これらは庭のバラの花に良く吸蜜に飛来した由で，〝多いもの〟と思いこまれて，あまり気にもとめられなかったという様なお話であった．

1）鹿児島県鹿屋市寿町　鹿屋農業高校

私は同年の11月に少時，立ち寄っただけで，十分な調査ができなかったが，カバマダラの食草として知られるトウワタは，本県下では草花として，かなり栽培されているので，枕崎市の場合も，恐らく近くにトウワタがあり，それによって迷蝶が一時的に発生したと考えて良いと思う．山崎さんのお宅は，市街地の中央部にあるが庭先に植込みや草花を栽培している家が多く，蝶の棲息環境としては悪くない条件である．

尚，1959年の夏から秋にかけては，奄美大島でも大発生した記録がある（久保，1960）．枕崎の場合では蝶が発生地の附近からあまりはなれないらしい事と，羽化が不完全なものが案外多いのではないかという事が考えられる．

(1) *Papilio polytes polycles* FRUHSTORFER

1♂ Bônotsu, Kagoshima Prov. Southern-Kyushu. 12-VIII-1959 (Y. KIJIMA leg.)

This is not only the first record from Kyushu, but also the northernmost record of the distribution of this species. It is highly probable, however, that the specimen is one carried by Typhoon No. 6 which passed there just before the collecting date.

(2) *Limnas chrysippus* LINNÉ

Though this species is not uncommonly captured in South-Japan, there has been no evidence of any breeding in this country, except for the only record at Amami-oshima, Loochoo Is. in 1959.

From August to October in 1959, Mrs. YAMASAKI saw not a few butterflies in question and collected three male specimens at her garden, Makurazaki, Southern-Kyushu. In my opinion these butterflies are ones bred in this locality.

大阪府枚岡市でサツマシジミを記録

巽　　清[1)]

Celestrina albocaerulea captured at Hiraoka, Osaka

By KIYOSHI TATSUMI

1959年6月14日サツマシジミの♂1頭を大阪府枚岡市枚岡公園内で採集したのでここに報告する．本種は道端のガマズミの花に，コアオハナムグリ等とともに吸蜜していた．この場所の東側は生駒山のなだらかな斜面になっており，西側を少し下ると近鉄奈良線が走っている．日当り，風通しともによく，付近には本種の食草のガマズミが多い．白水先生におうかがいしたところ，近畿地方では1958年までに和歌山県那智山麓で♂3頭採集，他に目撃5頭，三重県伊勢神宮付近松尾で♂1頭の記録があり，大阪地方ではこれが最初とのことである。偶産種とは思うが，一応今後気をつけて調べて見たいと思う．

最後に標本の確認その他いろいろ御教示下さった白水隆先生に厚く御礼申し上げます．

1）大阪市浪速区日本橋4—51